

育児時短就業期間等に係る証明書 (別紙) 週所定労働時間算定補助シート

1 シフトで具体的な労働日や労働時間が確定するような勤務形態の場合

(1) 本来の週所定労働時間

	対象期間									暦日数	実労働時間				
①	令和		年		月		日	～		月		日		時間	分
②	令和		年		月		日	～		月		日		時間	分
③	令和		年		月		日	～		月		日		時間	分
④	令和		年		月		日	～		月		日		時間	分
⑤	令和		年		月		日	～		月		日		時間	分
⑥	令和		年		月		日	～		月		日		時間	分
計										0 日	0 時間	0 分			

本来の週所定労働時間→

0 時間	0 分
------	-----

(2) 育児時短就業中の週所定労働時間

	支給対象月					暦日数	実労働時間		→	週所定労働時間		
①	令和		年		月		日			時間	分	0 時間
②	令和		年		月		日		時間	分	0 時間	0 分
③	令和		年		月		日		時間	分	0 時間	0 分

(注1) (1)の①～⑥は、育児時短就業を開始した日前6か月間(育児時短就業開始時賃金日額の算定に用いる賃金月)について記載すること。

(注2) (1)(2)の実労働時間には、法定労働時間(1日8時間・1週40時間又は44時間)を超えない部分の実際の労働時間を記載すること。

2 フレックスタイム制、変形労働時間制の場合

	清算期間・対象期間					期間中の総労働時間			→	週所定労働時間		
①		月	～		月		か月			時間	分	0 時間
②		月	～		月		か月		時間	分	0 時間	0 分

<参考> 週所定労働時間の計算方法 (いずれも分単位未満切り捨て)

1 シフト制の場合

$$\text{該当期間}^{\ast 1} \text{の実際の労働時間}^{\ast 2} \div (\text{該当期間の暦日数}^{\ast 1} \div 7 \text{日})^{\ast 3}$$

※1 本来の週所定労働時間を計算する場合は、育児時短就業を開始した日前6か月間(育児時短就業開始時賃金日額の算定に用いる賃金月)、支給対象月の週所定労働時間を計算する場合は、その支給対象月をいいます。

※2 法定労働時間(1日8時間・1週40時間又は44時間)を超えないものに限ります。

※3 括弧内に端数が生じた場合は小数点第3位を四捨五入してください。

2 フレックスタイム制、変形労働時間制の場合

$$\text{清算期間(対象期間)の総労働時間} \div \text{清算期間(対象期間)の月数} \times 12 \text{月} \div 52 \text{週}$$